

当病院は「日本における経皮的冠動脈インターベンション(PCI)および冠動脈バイパス手術(CABG)のレジストリー(コホートIII)」に参加しています

【研究の意義・目的】

2004年に薬剤溶出性ステント(DES)が登場し、現在では第2世代DESと呼ばれるステントが使用されています。しかしながら第2世代DES時代の冠動脈疾患に対する血行再建に関する大規模なデータは存在していません。したがって、本研究によって第2世代DES時代の本邦における冠動脈疾患に対する血行再建術の現状と治療成績を明らかにすることは、今後の本邦の冠動脈疾患診療の方向性についての指針を示すことができ、極めて重要であると考えられます。

【研究の対象・期間・方法】

小倉記念病院において2011年1月から2013年12月の間に初回のPCIあるいはCABGを受けられた患者様のその後を3年間追跡し、治療実態の把握、治療成績の評価および治療成績に影響を与える因子を探索します。また、先行して行った同様の研究と比較することで、本邦における冠血行再建術の経年的な変化を評価することを目的としています。

通常の診療の範囲内で得られた情報を研究対象とするので、患者さんに日常診療以外の負担が生じることはありません。なお、患者さんの状況を確認するため施設の者が直接、お電話することがあります。ご了承ください。

対象者となることを希望されない方は、下記連絡先へご連絡下さい。

【個人情報の管理について】

この研究を行うにあたり、データの収集を目的として院外の専門の研究員がカルテを閲覧いたします。得られたデータは個人情報漏洩を防ぐため、個人を特定できる情報を削除し、データの数値化、データファイルの暗号化など厳格な対策をとり、第三者が個人情報を閲覧することができないようにしております。

また、本研究の結果の公表(学会や論文等)の際には、個人が特定できる情報は一切含まれません。

【利益相反について】

この研究を行うにあたり、特定の企業の支援を受けたり、費用が発生することはありません。

【連絡・問い合わせ先】

小倉記念病院循環器内科

担当者 小林 洋平 / 道明 武範

〒802-8555 北九州市小倉北区浅野三丁目2番1号

電話 093-511-2000(代)